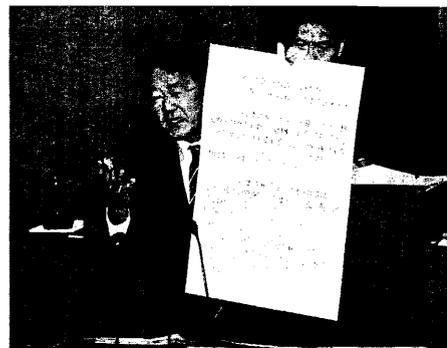


# 財政危機問題で、知事と国と県議会の責任を質す

## — 武田英夫県議が一般質問 —



一般質問に立った武田県議は、六月二日に石井知事がおこなった唐突な「財政危機宣言」について質しました。

六月定例県議会は、六月九日に開会し、二十七日まで十九日間の日程で開かれました。日本共産党県議団は、武田英夫県議が一般質問に、森脇ひさき県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。

### 武田英夫県議の質問項目

1. 原油急騰、輸入飼料高騰への対策
2. 県の財政問題(危機宣言)について
  - (1) なぜ今の発表なのか
  - (2) 石井知事の12年間は何かだったのか
  - (3) 何でこんな事態になったのか
  - (4) 岡山県と県民の暮らしは今後どうなるのか  
—いくつかの提案—
    - ①公共性のない無駄な財政支出は直ちに止める  
・チボリ ・瀬戸大橋への出資  
・苫田ダム売れ残り水量への財政支出
    - ②試験研究機関の見直し  
・光子科学研究所 ・生物科学総合研究所
    - ③組織と機構の見直し
    - ④今年度予算化されていても検討した方がよいものは大胆に見直す  
・消防防災ヘリコプター
    - ⑤知事自身の責任をどう取るか  
・知事公舎や部長公舎の売却  
・知事の退職金を見直し
3. 県民の暮らしと営業を守る問題
  - (1) 雇用問題
  - (2) 県単独の心身障害者医療費公費負担制度について
  - (3) 私学助成に関して
4. 石井知事の道州制論について

### 石井知事の政治責任は明白

武田県議は、「基金の枯渇問題など長野県政のしわ寄せが今日でも響いている問題もありますが、今日の事態の責任は100%石井知事の責任だと言っても言い過ぎではありません」として、石井県政の三次にわたる行財政改革のもと、県単独の障害者医療などは全国でも最悪の制度に

後退させられてきた一方、石井知事自身の判断でチボリ事業には新たに五年間で三十五億円の税金投入が行われ、また苫田ダム等を水源とした岡山県広域水道企業団には売れ残った水量に毎年約六億円もの負担が行われるなど、長野県政以来の無駄遣いの肝心なところはそのまま推移し

### 国の責任……年間三百億円の交付税削減

武田県議は、「岡山県財政の今日の事態の根源が、四年前から始まった国による地方交付税年間三百億円削減にあることは明らか」としながら、「今回問題なのは、県の中長期試算がこの理不尽な交付税削減を今

後十年間認めることを前提として「いること」と批判、「我々がいま緊急にすべきことは、この理不尽な交付税削減を元に戻すために力を集めることではないでしょうか」と呼びかけました。

### 危機打開へ——五つの柱で提案

武田県議は、これからの問題として五つの柱で提案(質問項目の一覧を参照)をおこないました。

その一つとして、「今年度予算化されていても立ち止まって検討した方がよいものは大胆に見直す」もの

として、消防防災ヘリコプター購入問題を取り上げました。

その理由として、一つはヘリコプターの機種が大き過ぎるのではないかと疑問、二つ目に国の予算措置との関連で納期が来年三月三十一

### 県議会も自ら襟を正すべき

武田県議は、「県民の疑問と批判は知事同様に県議会にも集まっている」として、「何よりもまず、県議会自身の税金の使い方に今すぐメスを入れてこそ、県民の付託に応えられる」「政務調査費の一円からの領

### 財政危機宣言のもとでも、県民の暮らしと営業を守れ

武田県議は、「本県財政も深刻な危機を迎えています。県民の暮らしと営業もいっそう深刻な状態となっています」「財政危機宣言のもとでも、県民の暮らしと営業を守っていくのが地方自治体の責務です」と

して、原油急騰・輸入飼料高騰への対策、雇用を守る対策、県単独の心身障害者医療費公費負担制度の改善を元に戻し充実させること、などについて取り上げました。



石井知事自身の判断で新たに5年間で35億円の税金投入が行われたチボリ

てきたことを指摘。こうした点で、「石井知事の逆立ちした姿勢そのものが根本的には正されなければならぬ」と考えますがいかがでしょうか」と質しました。

日に短縮されたため有力な一社が入札から降りる結果となり県民の財産購入の選択肢を狭めることになったのではないかと疑問、三つ目に財政危機宣言との関連、をあげ、購入することは賛成だが、安全面・機能面からも財政面からも今一度検討するよう求めました。

☆ ☆  
取書公表と不要分の返納、海外視察の中止、費用弁償の実費分以外の返納とその他の条例改正をこの議会から始める」よう呼びかけました。



2007年度

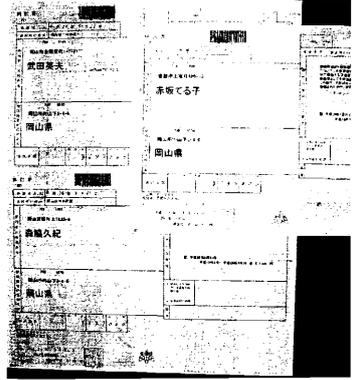
# 政務調査費を自主公開(7年連続) 新たに、費用弁償の供託も

時には、岡山市内の議員には少ない人であり、当日九千円が支給されています。

党県議団は、五月三十日に、昨年度分の政務調査費使途状況を自主的に公開(七年連続)するとともに、昨年五月〜今年三月までに支給された費用弁償について法務局に供託したことを明らかにしました。(写真は供託書)

費用弁償とは、県議が本会議や委員会に出席したり、出張した場合、歳費や政務調査費とは別に一定額が支給される制度です。例えば、

	供託した費用弁償の金額	返納した政務調査費
武田 英夫県議	647,000円	646,236円
森脇ひさき県議	577,000円	625,810円
赤坂てる子県議	564,000円	277,692円
合計金額	1,788,000円	1,549,738円



## 2008年7~9月の議会日程(予定)

### 委員会の積極的な視聴を

日	委員会	時間	出席者
7月15日(水)	各常任委員会	10時30分~	全員
7月25日(金)	各常任委員会	10時30分~	全員
8月12日(水)	各常任委員会	10時30分~	全員
8月25日(月)	各常任委員会	10時30分~	全員
8月27日(水)	各常任委員会	10時30分~	全員
8月28日(木)	決算特別委員会	10時30分~	森脇
	行財政改革・通州制等特別委員会	10時30分~	赤坂
	子ども応援特別委員会	10時30分~	武田
	地域振興・団塊世代特別委員会	13時00分~	
9月1日(月)	文化振興・環境対策特別委員会	13時00分~	
	議会運営委員会	10時30分~	武田
	決算特別委員会	10時30分~	森脇
	行財政改革・通州制等特別委員会	10時30分~	赤坂
9月22日(月)	子ども応援特別委員会	10時30分~	武田
	地域振興・団塊世代特別委員会	13時00分~	
	文化振興・環境対策特別委員会	13時00分~	
9月24日(水)	各常任委員会	10時30分~	全員
9月25日(木)	議会運営委員会	10時30分~	武田

9月定例会議会は、9月8日開会、26日閉会の予定。代表質問は11・12日、一般質問は17・18・19日(16日が予備日)の予定。日本共産党からは、赤坂てる子県議が一般質問、武田英夫県議が討論に立つ予定です。請願・陳情の受付は、9月10日(水)までです。

## 消防防災 購入 問題 問

## 問われる自民党の見識 委員会で「継続審査」↓本会議で「賛成」

今議会、質問に立った自民党の県議からは、財政危機宣言にかかわって「導入反対」の意見が続き、自民党県議団は総務委員会では「継続審査」の態度を表明しました。明は一切ありません。

ところがその後、自民党の幹部と石井知事の会談を受けた団総会で、急転直下「賛成」することに。しかもそのいきさつについての説明は一切ありません。

文部科学省は、全国学力テストを昨年度から膨大な国費を投じて実施しました。そして、岡山県教委は、「学力向上アクションプラン」の名で「学力テスト体制」をすすめるようとしています。

これは全国一位の秋田県と同様の「学習到達度テスト」を二学期から実施するもので、小・中学校全学年の算数と数学が対象です。県教委のホームページの単元ごと「基礎・基本編・発展編」のテストが準備され、実施後学校ごとの

結果を入力すると県内平均と比較できるようにするものです。これらのデータは教育委員会に集まり、指導主事の学校支援などに活用されると言います。各校参加は自由といっても「参加は要請する」半強制であり、今後他の教科にも広げる計画です。子どもたちと教育現場にもなる競争を持ちこむものです。

学校現場に一層の困難を強いる「学力テスト体制」ではなく、少人数学級の拡大など教育条件の充実にこそ努力すべきです。

## 県議会文教委員 赤坂てる子



## 競争の強化でなく、教育条件の充実を

森脇県議は、委員長報告で「継続審査」「不採択」とされた障害者福祉や障害者医療制度に関する五つの陳情について、単県医療費公費負担制度の見直しなど一連の制度改定が障害者や家族に大きな影響をもたらしており、様々な生じる問題に対して改善を求めるのも県議会の大事な役割のひとつであることを強調し、ただちに「採択」するよう求めました。

「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」請願について、森脇県議は、この制度が昭和二十四年の「シャープ勧告」にもとづいて一度廃止されたのち、二十八年に復活し、五十年頃までに恩給費、教材費、共済年金長期給付費、

公務災害補償費、児童手当、栄養職員給与などが負担費目に追加されて充実ははかられたことしかしその後の臨調「行革」路線による逆流によって義務教育学校職員給与と本体を残すのみになり、昨年、その国の負担割合が二分の一から三分の一に引き下げられたこと、そして国庫負担の対象からはずされた費目は一般財源化されたものの教育の充実に結びついていないことをあげ、「採択」するよう求めました。

民主県民クラブとともに共同提出した発議「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書案」についても「不採択」ではなく「採択」するよう求めました。

## 森脇ひさき県議が討論

## 「後期高齢者医療制度」 廃止意見書の採択を



## 主な議案と請願・陳情の結果

【議案・発議】	共産	自民	民衆	公明	結果
物品(消防防災ヘリ)の取得について	△	○	△	○	○
後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書(案)	△	×	○	×	×

※、○賛成、×反対、△継続審査

6月定例会議会は、18議案と議員発議6議案など26件の採決が行われました。わが党は1件に「反対」、1件を「継続審査」とした他は「採択」を主張しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民衆	公明	結果
後期高齢者医療制度撤廃の意見書提出決議を求めることについて(障害者の生活と権利を守る岡山県連協協議会)	○	×	○	×	×
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択を求めることについて(岡山県教職員組合)	△	×	○	×	×

※、○採択、×不採択、△継続



全日本学力テストの中止を求め県に申し入れ (4月2日)